

富士見小だより



富士見小 HP

学校教育目標 「未来を切り拓く心豊かな児童の育成」
校 訓 かしこく やさしく 元気よく

上尾市立富士見小学校 上尾市柏座 4-3-8 電話 048 (771) 0505

令和8年5月 1日
発行責任者
校長 吉田 充

始業式で子供たちに伝えたこと

校長 吉田 充

新緑も鮮やかに、春たけなわのすがすがしい季節を迎えました。新学期が始まって一か月、子供たちは新しい学年・クラスで楽しく学校生活を送っています。先日行われた授業参観・懇談会では、多数の保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。

さて、先月行われた始業式では、学校生活をより豊かで実り多いものにするため、次の3つのことを子供たちに伝えました。

1 学校をみんなが安心して過ごせる場所にしてほしい。

学校や教室が、一人一人の子供たちにとって居心地のよい場所であってほしいと願っています。学校や教室が、「ここにいてよい」と感じられる場所であることが、子供たちに安心感や自己肯定感、挑戦する勇気を与えてくれると思います。そのためにも、お互いのよさや存在を認め合うとともに、人のことを傷つけるような言動は決してあってはならないと伝えました。小さな安心を積み重ねることで、教室や学校を心の拠り所とし、未来の自分を支えるための、心の力を育む場にしたいと考えます。

2 学習にしっかり取り組んでほしい。

学校や教室は学習をする場所であることを伝えました。友だちと意見を交わしたり、自分の考えを深めたりして、自主的、自律的に学習に取り組んでほしいと思います。時には、間違ったり、失敗したりすることもあるかもしれませんが、「失敗は成功のもと」「間違いは気づきのチャンス」と捉えています。多少くらい難しくても、うまくいなくても、あきらめないうでチャレンジできる粘り強さを、育んでいきたいと考えます。

3 自分のよいところを見つけてほしい。

世の中にあなたという人はあなたしかいないということ、そして、一人一人がかけがえない存在であり、誰もがその人にしかもっていないよさや可能性をもっているということを伝えました。自分のよさを見つけて伸ばすことができるのは、自分自身です。周囲との比較ではなく、自分らしく、自分らしさを光り輝かせてほしいと願っています。

子供たちはこの一か月、新しい環境の中でよくがんばったと思います。4月を振り返って、よかったことはさらに伸ばし、課題はこれからの教育活動を通して乗り越えながら、私たちも子供たちとともに成長してまいりたいと考えています。

そして、私たち教職員自身が子供たちにとって安心できる存在となるためにも、子供たちの気持ちを受け止め、心を寄せるとともに、「よいことはよい、だめなものはだめ」という一貫した指導が欠かせません。時には毅然とした指導を行うこともありますが、子供たちの健やかな成長を期してのことですので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、ゴールデンウィークも後半、ちょうどよい息抜きとリフレッシュの機会となることでしょう。新学期の疲れも出ていることかと思えます。ぜひご家族でも有意義に過ごしていただき、来週から再スタートする学校生活に備えてください。